

京田辺市学校施設長寿命化計画

令和8年3月改定

京 田 辺 市

目次

第1章. 計画の背景と目的	1
1-1. 計画の背景	1
1-2. 計画の目的	2
1-3. 計画期間	3
1-4. 計画の対象施設	3
第2章. 学校施設等を取り巻く現状と課題	6
2-1. 児童生徒幼児数の推移	6
2-2. 学校施設の状況	9
2-3. 教育予算の状況	38
2-4. 幼稚園・こども園	39
2-5. 学校給食センター	39
2-6. 将来的な更新コストの試算	40
第3章. 学校施設の目指すべき姿	41
第4章. 学校施設整備の基本的な方針	43
4-1. 学校規模・学校配置	43
4-2. 長寿命化改修等	44
4-3. 目標使用年数及び改修周期	46
4-4. 整備水準	47
4-5. 予防保全型の維持管理	50
第5章. 長寿命化改修等の実施計画	51
5-1. 実施計画の考え方	51
5-2. 実施計画	52
第6章. 長寿命化計画の運用方針	53
6-1. 計画の推進体制	53
6-2. 計画の見直し	53
用語集	54

第1章. 計画の背景と目的

1-1. 計画の背景

本市は、令和7年度(2025)現在、小学校9校、中学校3校、幼稚園6園、幼稚園から移行した幼保連携型認定こども園1園、学校給食センター1か所の学校施設を有していますが、建築後30年を超える学校施設が全体の約8割を占め、多くの施設が改修を必要とする時期を迎えています。

今後、限られた財源の中で改修を行わなければならない、本市だけでなく全国的な共通の課題となっており、学校施設以外の公共施設においても同様の課題が生じています。

そのため、国は平成25年(2013)11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、中長期的な維持管理・更新等に関わるトータルコストの縮減や予算の平準化を図る公共施設マネジメントの方向性を打ち出しました。

本市においても、平成29年(2017)3月に京田辺市公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設マネジメントを推進するための基本的な考え方や推進体制等が示されており、具体的な取組の実施が求められています。

学校施設に関しては、令和3年(2021)3月に「京田辺市学校施設長寿命化計画」(以下「本計画」)を策定し、長寿命化改修等を順次実施してきました。

しかしながら、策定から5年が経過する中で、子どもたちの教育や学校を取り巻く状況は大きく変化しています。

こうした時代の変化に対応し、子どもたちが「生きる力」を育む安全で快適な学校環境を整備するため、令和8年(2026)3月に「京田辺市新しい学校づくりプラン」を策定したことから、同プランとの整合を図りつつ、より実効性のある計画とするため、本計画を改定するものです。

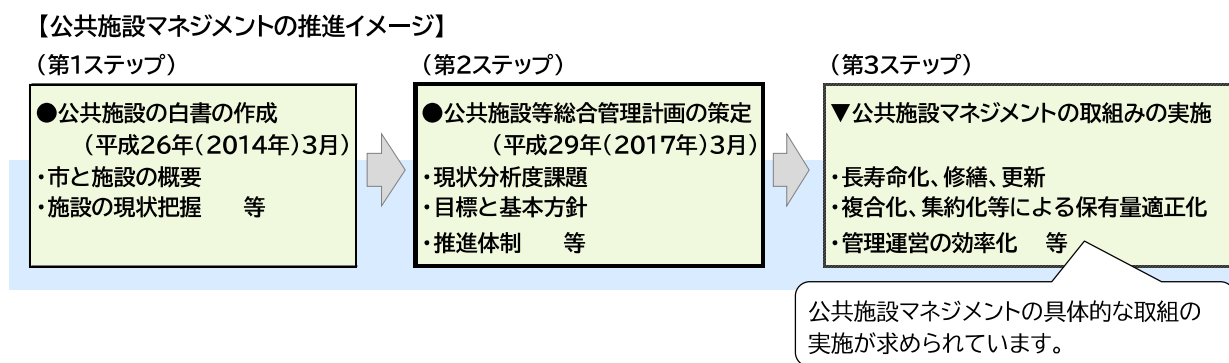


図1-1：公共施設マネジメントの推進イメージ

出典：京田辺市公共施設等総合管理計画〈概要版〉

1-2. 計画の目的

本計画は、学校施設の維持管理や長寿命化改修等の施設整備に関する中長期の具体的方針を示し、整備コストの縮減や財政コストの平準化を図るとともに、「京田辺市新しい学校づくりプラン」と連携し、子どもたちが安全・安心で継続的に利用できる施設の実現と教育環境の充実を目的とします。

また、本計画は、前述した背景を踏まえて京田辺市公共施設等総合管理計画の学校施設に関する実施計画として位置付けます。

1. 長寿命化改修とは

学校施設の老朽化対策を効率的・効果的に進めるための新しい改修方法。従来のように建築後40年程度で建て替えるのではなく、コストを抑えながら建て替えと同等の教育環境の確保が可能。

2. 長寿命化改修のメリット

① 工事費用の縮減，工期の短縮が可能

- ・ 構造体（柱や梁）の工事が大幅に減少するため、工事費用が建て替えと比較して4割程度縮減
- ・ 工期も大幅に短縮



環境に配慮した学校施設として再生

② 建て替えた場合と同等の教育環境の確保が可能

- ・ ライフラインや仕上げ、機能の一新が可能
- ・ 間取りを変更することも可能



改修に併せて多目的に活用できるワークスペースを整備

③ 廃棄物量が少ない

- ・ 排出する廃棄物が少なく環境負荷が少ない
- ・ 廃棄物処理に係るコストの削減が可能

図1-2：長寿命化改修の概要

出典：学校施設の長寿命化改修の手引（概要）

1-3. 計画期間

本計画は、令和3年度(2021)から、京田辺市公共施設等総合管理計画にあわせて令和38年度(2056)までの36年間の計画期間とします。

1-4. 計画の対象施設

本計画の対象施設は、小学校9校（給食室含む）、中学校3校、幼稚園3園、幼稚園から移行した幼保連携型認定こども園1園、学校給食センター1か所とします。

なお、「第2期京田辺市立幼稚園・保育所再編整備計画」において休園又は廃止予定としている幼稚園及びリース施設は対象外とします。

表1-1：市立小学校

No.	施設名	主な構造	主な建築年度	延床面積
1	大住小学校	鉄筋コンクリート造	昭和42年度(1967)	6,312㎡
2	田辺小学校	鉄筋コンクリート造	昭和34年度(1959)	5,716㎡
			平成5年度(1993)	
3	草内小学校	鉄筋コンクリート造	昭和40年度(1965)	4,505㎡
4	三山木小学校	鉄筋コンクリート造	昭和46年度(1971)	8,964㎡
			平成27年度(2015)	
5	普賢寺小学校	鉄筋コンクリート造	昭和48年度(1973)	2,782㎡
6	田辺東小学校	鉄筋コンクリート造	昭和47年度(1972)	5,514㎡
			平成22年度(2010)	
7	松井ヶ丘小学校	鉄筋コンクリート造	昭和53年度(1978)	5,688㎡
			平成13年度(2001)	
8	薪小学校	鉄筋コンクリート造	昭和54年度(1979)	4,888㎡
9	桃園小学校	鉄筋コンクリート造	昭和59年度(1984)	5,416㎡

表1-2：市立中学校

No.	施設名	主な構造	主な建築年度	延床面積
1	田辺中学校	鉄筋コンクリート造	昭和50年度(1975)	8,066㎡
			平成22年度(2010)	
2	大住中学校	鉄筋コンクリート造	昭和53年度(1978)	8,736㎡
3	培良中学校	鉄筋コンクリート造	昭和57年度(1982)	6,800㎡

※延床面積はリース施設、小規模な倉庫等を除く。

表1-3：市立幼稚園・こども園

No.	施設名	主な構造	主な建築年度	延床面積
1	三山木幼稚園	鉄筋コンクリート造	昭和52年度(1977)	646㎡
			平成8年度(1996)	
2	薪幼稚園	鉄筋コンクリート造	昭和54年度(1979)	842㎡
3	普賢寺幼稚園	鉄筋コンクリート造	平成11年度(1999)	491㎡
4	大住こども園	鉄骨造	令和4年度(2022)	2,377㎡

※延床面積はリース施設、小規模な倉庫等を除く。

表1-4：学校給食センター

No.	施設名	主な構造	主な建築年度	延床面積
1	学校給食センター	鉄骨造	令和5年度(2023)	2,192㎡

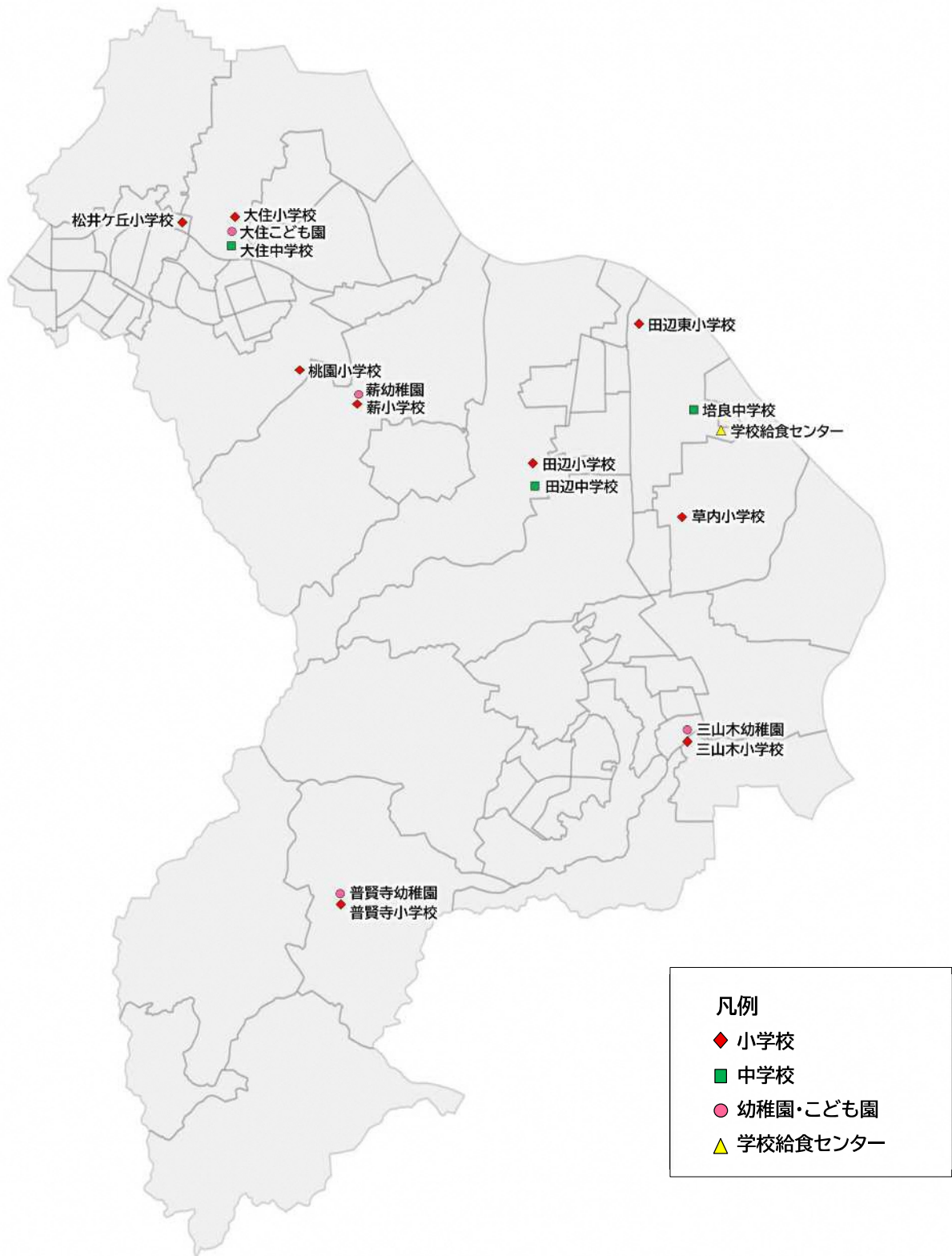


図1-3：対象施設の配置状況

第2章. 学校施設等を取り巻く現状と課題

2-1. 児童生徒幼児数の推移

■ 人口の推移

本市の人口は、昭和40年(1965)以降、北部地域における住宅地開発などにより増加が続いていましたが、令和12年(2030)をピークに、その後は緩やかに減少すると推計されています。

15歳未満の人口については、昭和60年(1985)の11,306人から平成7年(1995)には7,638人へと減少しましたが、令和2年(2020)には10,802人と増加に転じています。

しかしながら、今後は減少傾向となり、令和27年(2045)は6,504人に、令和37年(2055)には4,282人になると見込まれています。これは、令和2年(2020)のピークから6割以上の減少となります。

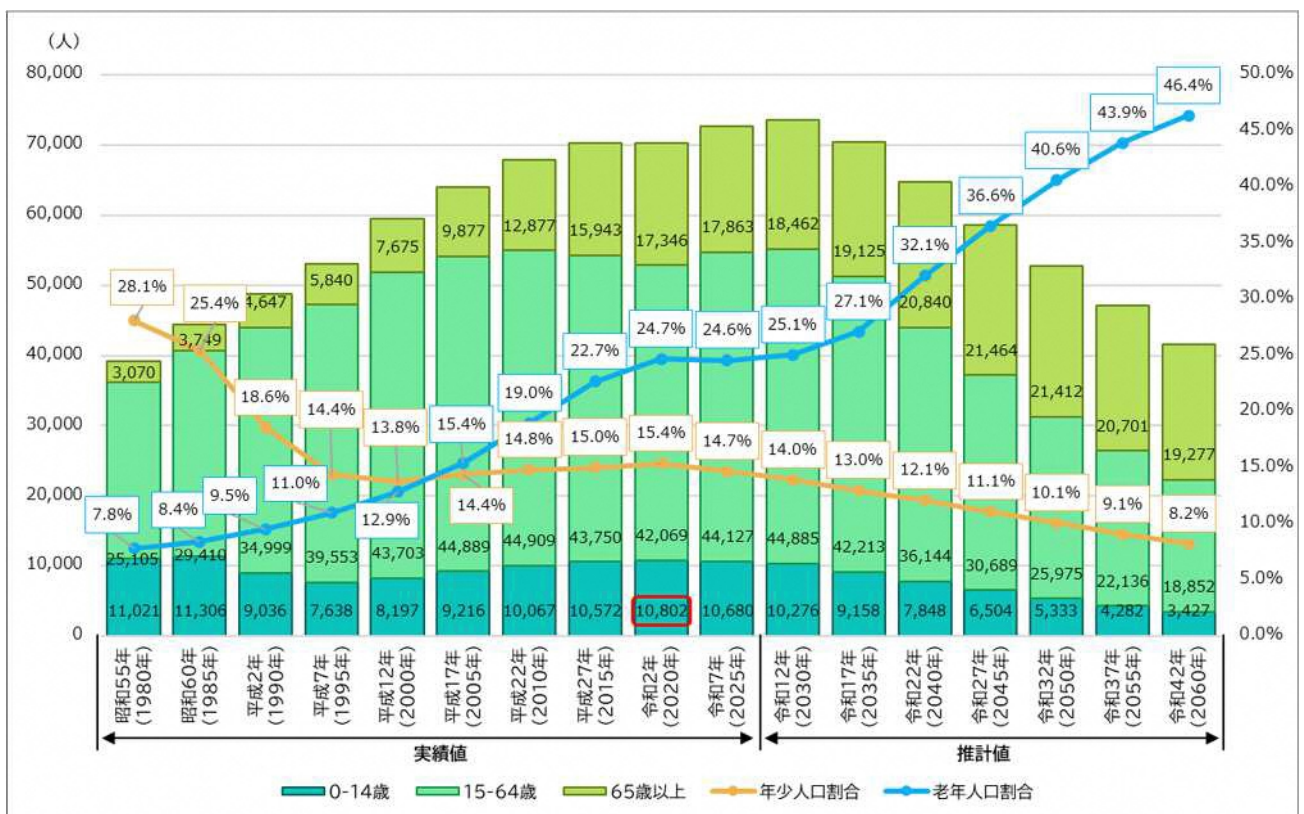


図2-1：人口の推移

資料：令和4年(2022)市立児童生徒数の推計結果報告書（推計値）

■ 学校別児童生徒数の推移

学校別の児童数の推移をみると、令和2年度(2020)以降横ばいの学校が多い中、三山木小学校の児童数が著しく増加しています。また、生徒数は、田辺中学校が増加しており、これらは市南部地域（同志社山手地区）における大規模開発や子育て世代を中心とした人口流入を背景にしたものと考えられます。

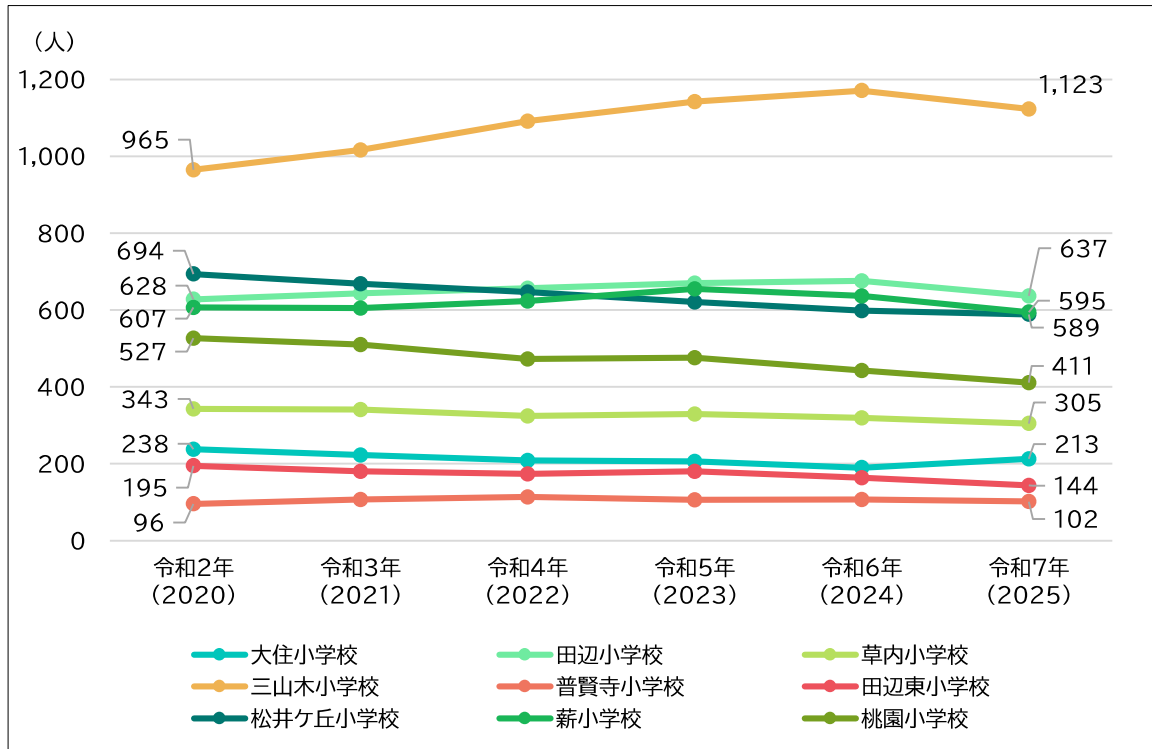


図 2-2 : 小学校別児童数の推移

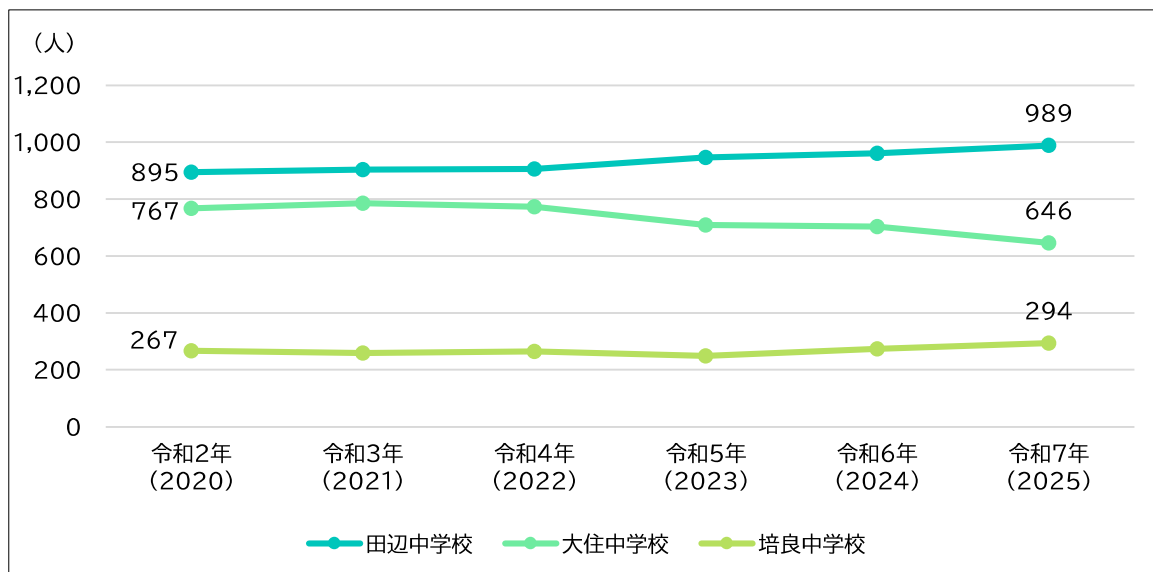


図 2-3 : 中学校別生徒数の推移

資料：京田辺市「在籍報告(5月1日基準・定数)」
 ※フリースクール通所者等、1年以上の欠席者を除く

■ 幼稚園・こども園別園児数の推移

近年、幼稚園の園児数は減少傾向にあります。令和5年度(2023)に大住こども園が整備され、こども園の園児数は徐々に増加しているものの、全体では園児数の減少傾向が続いています。

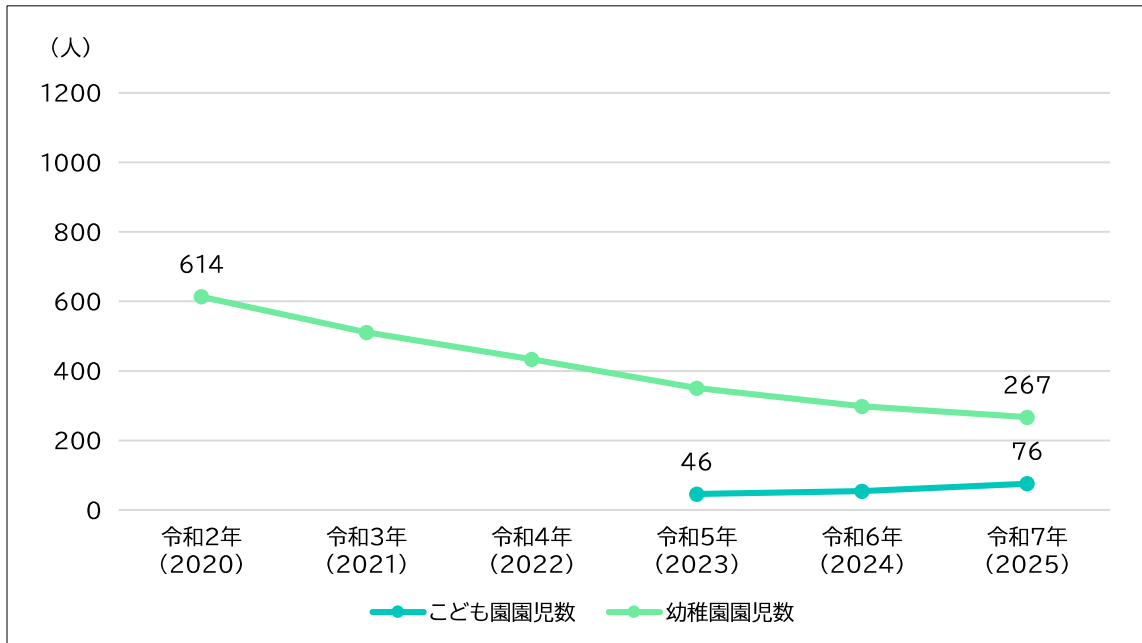


図2-4：幼稚園・こども園別幼児数の推移

資料：京田辺市教育委員会「京田辺市の教育」令和6年(2024)版
第2期京田辺市立幼稚園・保育所再編整備計画

2-2. 学校施設の状況

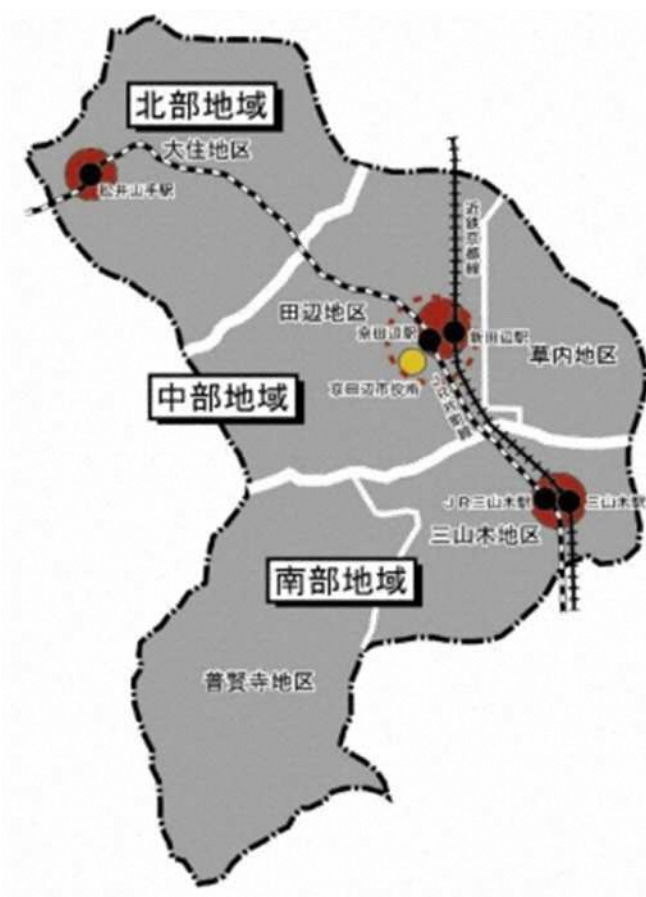
(1) 学校施設の配置状況

本市は、東西5.5km、南北10.9kmに広がる市域を北部地域・中部地域・南部地域の3つの地域生活圏に分け、それぞれが有する自然や歴史を生かしたまちづくりを進めています。

現在、北部地域には小学校3校・中学校1校・幼稚園1園・こども園1園、中部地域には小学校4校・中学校2校・幼稚園3園、学校給食センター1か所、南部地域には小学校2校・幼稚園2園が配置されています（保育所から移行したこども園は除く）。

表2-1：三地域の施設数

地域	学校施設	施設数
北部	大住小学校	6
	松井ヶ丘小学校	
	桃園小学校	
	大住中学校	
	松井ヶ丘幼稚園	
	大住こども園	
中部	田辺小学校	10
	草内小学校	
	田辺東小学校	
	薪小学校	
	田辺中学校	
	培良中学校	
	田辺幼稚園	
	草内幼稚園	
	薪幼稚園	
	学校給食センター	
	南部	
普賢寺小学校		
三山木幼稚園		
普賢寺幼稚園		



(2) 整備年度別の施設状況

本市の学校施設の多くは昭和45年度(1970)から昭和59年度(1984)に整備され、これらの建物は建築後41年～55年が経過しており、老朽化が進んでいます。また、延面積比でみると建築後30年以上の施設は全体の約77%を占めており、大半の学校施設が改修を必要とする時期を迎えています。

なお、小学校・中学校においては、全ての校舎の耐震性が確保されています。

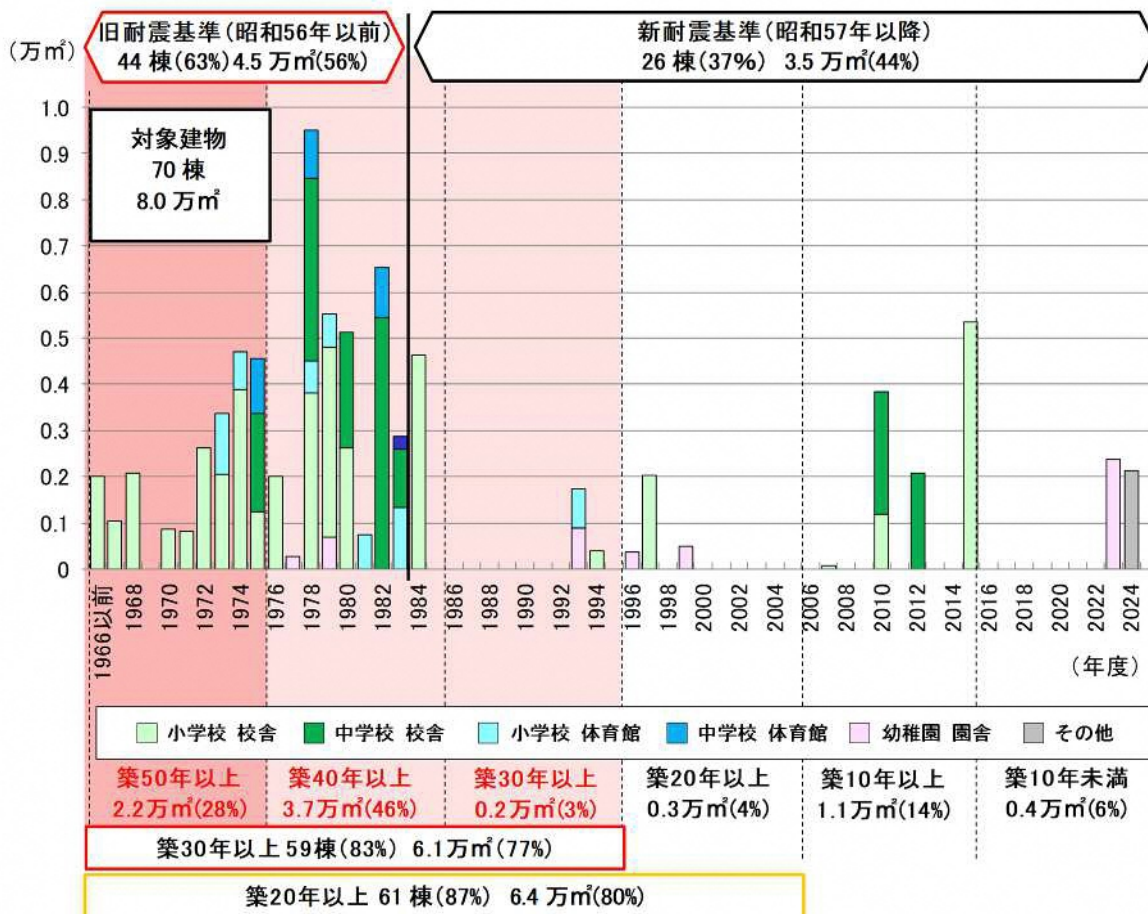


図2-5：建築年別の施設整備状況

資料：京田辺市「学校施設台帳」
※リース施設、小規模な倉庫等を除く

(3) 学校施設の老朽化状況

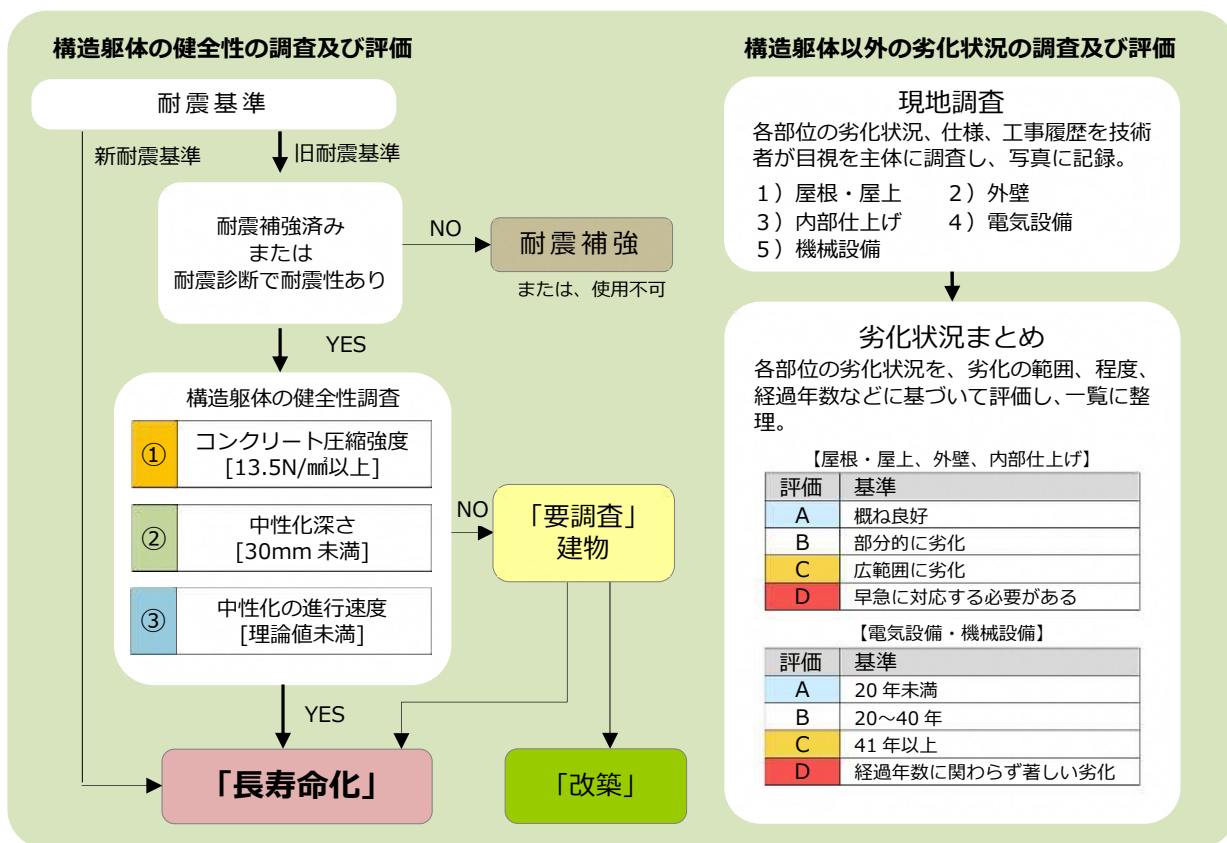
■ 健全性及び劣化状況の調査等

本計画に基づき、田辺小学校の校舎2棟と薪幼稚園の園舎1棟の長寿命化改修を実施しましたが、その他の学校施設は部分的な改修等にとどまっているため、今後は老朽化への対応が課題となります。

また、体育館についても、校舎と同様に昭和45年度(1970)から昭和59年度(1984)の整備が大半で、屋根・外壁の損傷や床材の劣化などがみられます。

そのため、構造躯体の健全度調査に加えて、構造躯体以外の劣化状況を把握し、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を参考に長寿命化の可否を判定します。

【長寿命化の判定フロー】



※コンクリート圧縮強度と中性化深さは、複数箇所試験を実施する場合には平均値を用いる。

■ 構造躯体の健全性の調査及び評価

建築物は、躯体の健全性が確保されてはじめて長期間使用することができますが、施工時の状況やその後の使用状況、立地環境によって使用できる年数が異なります。長寿命化の方針を定めるためには、施設ごとに構造躯体の健全性を評価する必要があります。

【調査対象】

築年数が20年未満の建物と、直近5年間で長寿化改修を実施した建物を除く学校施設を対象とします。

【調査方法】

構造躯体の健全性の評価にあたっては、専門知識を有する技術者が現地調査や材料試験を行った結果を基に判断します。

【評価方法】

構造躯体データのうち、コンクリート圧縮強度とコンクリート中性化深さのデータを用いて、以下の3つの基準により評価を行い、長寿命化に適する建物かどうかを判断します。

① コンクリート圧縮強度（数値が大きいほど強い）

鉄筋コンクリート造で標準的なコンクリートの圧縮強度が 13.5N/mm^2 以上であれば、「長寿命化が可能」と判断します。

コンクリート圧縮強度が 13.5N/mm^2 未満の建物は長寿命化に適さない可能性があります。

② 中性化深さ（数値が小さいほど健全）

大気中の二酸化炭素がコンクリートに進入し、中性化が内部の鉄筋まで進行すると、鉄筋が腐食しコンクリートと鉄筋の一体性が失われ、建物が本来の力を発揮できず長期間の使用に支障がでるため、中性化の深さがコンクリート表面から鉄筋までの最低限の厚みである 30mm に達していない場合は「長寿命化が可能」と判断します。

③ 中性化の進行速度（数値が小さいほど健全）

中性化の現象は、年数の経過により徐々に進行し、コンクリート表面仕上材の種類やコンクリートの品質が悪ければ、中性化の進行が早くなり鉄筋腐食の可能性が高まるため、建築年数を基に理論式から求められる中性化深さの推定値より調査結果の中性化深さの値が大きければ今後長期的な使用に適さない可能性があります。

【躯体の健全性調査結果】

躯体の健全性の調査結果は以下のとおりです。

30mm 以上の中性化が進んでいる建物と理論値以上に中性化が進行している建物の計8棟については、今後長期的な使用に適さない可能性があることから、詳細な調査を実施し、コンクリートの再アルカリ化や不良部材の交換等による躯体の健全化を検討する必要があります。

表2-2：評価結果（構造躯体の健全性）1/2

学校名	建物名	構造	建築年度		築年数	①コンクリート 圧縮強度 (N/mm ²)	②中性化 の深さ (mm)	③中性化 の進行 速度	理論式に よる深さ (mm)	評価 結果	
			西暦	和暦							
小学校	大住	校舎1(中校舎)	RC	1967	S42	58	24.1	1.7	OK	27.0	長寿命化可能
		校舎2(北校舎)	RC	1973	S48	52	26.5	2.6	OK	26.1	長寿命化可能
		校舎3(管理棟)	RC	1976	S51	49	30.7	0.5	OK	25.5	長寿命化可能
		校舎4(南校舎)	RC	1980	S55	45	28.8	1.4	OK	24.7	長寿命化可能
		屋内運動場1(体育館)	RC	1973	S48	52	17.0	2.1	OK	26.9	長寿命化可能
		給食室棟	RC	1976	S51	49	27.9	0.6	OK	26.1	長寿命化可能
	田辺	校舎2(南校舎)	RC	1968	S43	57	19.1	14.3	OK	25.7	長寿命化可能
		屋内運動場1(体育館)	RC	1993	H5	32	20.4	25.1	NG	20.7	要調査
		給食室棟	RC	1978	S53	47	24.5	22.5	OK	25.5	長寿命化可能
	草内	校舎1(南校舎東)	RC	1970	S45	55	23.0	0.0	OK	27.4	長寿命化可能
		校舎2(南校舎中・西)	RC	1980	S55	45	35.5	0.6	OK	29.5	長寿命化可能
		校舎3(中校舎)	RC	1970	S45	55	31.2	8.1	OK	27.4	長寿命化可能
		校舎4(管理棟)	RC	1965	S40	60	24.8	0.0	OK	28.6	長寿命化可能
		校舎5(北校舎)	RC	1975	S50	50	25.7	6.4	OK	26.1	長寿命化可能
		屋内運動場1(体育館)	RC	1981	S56	44	33.0	27.1	NG	24.4	要調査
		給食室棟	RC	1967	S42	58	28.7	6.3	OK	28.1	長寿命化可能
	三山木	校舎1(東校舎西)	RC	1971	S46	54	15.6	1.0	OK	27.1	長寿命化可能
		校舎2(東校舎東)	RC	1972	S47	53	30.4	0.0	OK	26.9	長寿命化可能
		校舎3(東校舎北)	RC	1974	S49	51	20.9	0.0	OK	26.4	長寿命化可能
		屋内運動場1(体育館)	RC	1973	S48	52	22.5	10.9	OK	26.6	長寿命化可能
	普賢寺	校舎1(南校舎)	RC	1973	S48	52	20.9	12.9	OK	26.9	長寿命化可能
		校舎2(管理棟)	RC	1974	S49	51	19.6	3.8	OK	26.4	長寿命化可能
		校舎3(北校舎)	RC	1994	H6	31	28.3	2.9	OK	20.4	長寿命化可能
		屋内運動場1(体育館)	RC	1983	S58	42	36.6	25.4	NG	23.9	要調査
	田辺東	校舎1(北校舎)	RC	1972	S47	53	28.6	0.0	OK	26.9	長寿命化可能
		校舎2(管理棟)	RC	1974	S49	51	22.4	1.8	OK	25.7	長寿命化可能
		屋内運動場1(体育館)	RC	1974	S49	51	14.3	29.4	NG	26.6	要調査
		給食室棟	RC	1972	S47	53	21.5	0.0	OK	27.1	長寿命化可能

※構造はRC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造・その他構造
 ※築年数は令和7年度(2025)基準

表2-3：評価結果（構造躯体の健全性）2/2

学校名	建物名	構造	建築年度		築年数	①コンクリート 圧縮強度 (N/mm ²)	②中性化 の深さ (mm)	③中性化 の進行 速度	理論式に よる深さ (mm)	評価 結果	
			西暦	和暦							
小学校	松井ヶ丘	校舎1(南校舎)	RC	1978	S53	47	28.9	1.6	OK	25.3	長寿命化可能
		校舎2(北校舎)	RC	1997	H9	28	27.1	2.5	OK	18.9	長寿命化可能
		屋内運動場1(体育館)	RC	1978	S53	47	26.1	5.9	OK	25.3	長寿命化可能
		給食室棟	RC	1978	S53	47	37.5	0.0	OK	25.3	長寿命化可能
	薪	校舎1(管理棟)	RC	1979	S54	46	21.9	0.9	OK	25.0	長寿命化可能
		校舎2(南校舎)	RC	1979	S54	46	31.0	0.6	OK	24.7	長寿命化可能
		屋内運動場1(体育館)	RC	1979	S54	46	30.2	0.7	OK	25.0	長寿命化可能
		給食室棟	RC	1979	S54	46	30.7	1.4	OK	25.0	長寿命化可能
	桃園	校舎1(南校舎)	RC	1984	S59	41	40.1	15.1	OK	23.9	長寿命化可能
		校舎2(北校舎)	RC	1984	S59	41	41.2	14.4	OK	23.9	長寿命化可能
		屋内運動場1(体育館)	RC	1983	S58	42	38.1	20.1	OK	23.9	長寿命化可能
		給食室棟	RC	1984	S59	41	31.3	23.7	OK	23.9	長寿命化可能
中学校	田辺	校舎1(北校舎)	RC	1975	S50	50	27.1	1.1	OK	26.1	長寿命化可能
		屋内運動場1(体育館)	RC	1975	S50	50	27.5	0.0	OK	26.1	長寿命化可能
	大住	校舎1(南校舎西)	RC	1978	S53	47	36.0	24.6	OK	25.3	長寿命化可能
		校舎2(北校舎)	RC	1978	S53	47	36.1	0.0	OK	25.3	長寿命化可能
		校舎3(管理棟)	RC	1980	S55	45	23.2	3.6	OK	24.7	長寿命化可能
		校舎4(南校舎東)	RC	1983	S58	42	31.9	25.1	NG	23.9	要調査
		校舎5(昇降室棟)	RC	1983	S58	42	35.2	15.0	OK	23.9	長寿命化可能
		屋内運動場1(体育館)	RC	1978	S53	47	29.0	24.6	OK	25.3	長寿命化可能
	培良	校舎1(南校舎)	RC	1982	S57	43	34.4	31.3	NG	24.4	要調査
		校舎2(北校舎)	RC	1982	S57	43	26.4	27.2	NG	24.4	要調査
部室棟1		RC	1982	S57	43	26.2	29.6	NG	24.4	要調査	
屋内運動場1(体育館)		RC	1982	S57	43	30.3	13.9	OK	24.4	長寿命化可能	
幼稚園	三山木	園舎1(管理棟)	RC	1977	S52	48	38.3	0.0	OK	25.5	長寿命化可能
		園舎2(西園舎)	RC	1996	H8	29	33.7	1.3	OK	19.7	長寿命化可能
	普賢寺	園舎1	RC	1999	H11	26	34.4	0.2	OK	18.6	長寿命化可能

※構造はRC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造・その他構造
 ※築年数は令和7年度(2025)基準

■ 構造躯体以外の劣化状況の調査及び評価

建物の性能や機能を維持していく上で必要な構造躯体以外の部位及び設備機器について、現地調査を実施しました。

【調査内容】

① 屋根・屋上

- ・最上階の天井において雨漏りがないか。雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。
- ・屋上防水において、膨れ・剥がれ・破れ・穴開きがないか。
- ・金属屋根において、錆・損傷・腐食がないか。

② 外壁

- ・コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。
- ・室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれがないか。
- ・亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損がないか。
- ・建具枠、丁番などの腐食、変形、ぐらつきがないか。
- ・窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥がれがないか。

③ 内部仕上げ

- ・内部においては、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やボード類の浮きや損傷がないか。
- ・天井ボードの落下や床シートの剥がれなどにより安全性が損なわれているところがないか。

④ 電気設備 ⑤ 機械設備

- ・機器や架台に錆・損傷・腐食がないか。
- ・漏水・漏油がないか。
- ・使用水に赤水や異臭がないか。
- ・機器から異音はしていないか。
- ・保守点検や消防の査察などで是正措置等の指摘がないか。

【評価方法】

屋根・屋上、外壁、内部仕上げは目視状況により評価します。一方、電気設備、機械設備については、目視だけでは判断が出来ないため、経過年数を基本に評価します。

目視による評価 【屋根・屋上・外壁・内部仕上げ】	
評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化 (安全面・機能面問題なし)
C	広範囲に劣化 (安全面・機能面に不都合の兆し)
D	早急に対応する必要がある (安全面・機能面に影響が大きい)

経過年数による評価 【電気設備・機械設備】	
評価	基準
A	20年未満
B	20～40年
C	41年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化

また、部位別評価をまとめ、100点満点で数値化した健全度を算出します。これは、各部位の評価点にコスト配分を掛けて総和を66で割り加重平均するもので、各施設の劣化状況を相対的に把握する指標となります。

部位の評価点

評価	評価点
A	100点
B	75点
C	40点
D	10点

部位のコスト配分

部位	コスト配分
1. 屋根・屋上	4.2
2. 外壁	14.9
3. 内部仕上げ	21.3
4. 電気設備	9.0
5. 機械設備	16.6
計	66

健全度

$$\text{総和 (部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 66$$

参照：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定にかかる解説書」

【劣化状況の評価結果】

現地調査を実施した学校施設の健全度の算定結果は、次のとおりです。

劣化状況調査による棟別の調査結果として、使用頻度の高い校舎に関しては健全度が高い傾向があるものの、給食室棟の劣化や老朽化が見受けられました。

建物の耐久性に関わる屋根・屋上、外壁がDランクとなった3棟を中心とした改修が必要と考えられます。

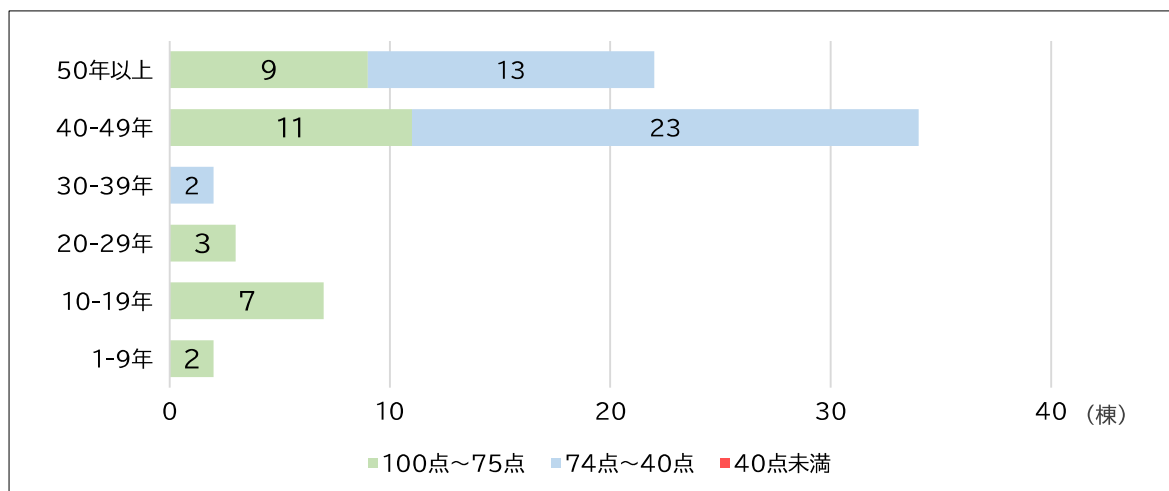


図2-6：築年別の健全度による評価結果

表2-4：棟別劣化状況の評価結果 1/2

A :概ね良好 C :広範囲に劣化
B :部分的に劣化 D :早急に対応する必要がある

通し 番号	施設名	建物名	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築 年数	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
						西暦	和暦							
1	大住小学校	校舎1(中校舎)	RC	2	901	1967	S42	58	C	C	C	B	B	54点
2	大住小学校	校舎2(北校舎)	RC	3	1358	1973	S48	52	B	C	C	B	B	56点
3	大住小学校	校舎3(管理棟)	RC	3	1856	1976	S51	49	B	B	B	B	B	75点
4	大住小学校	校舎4(南校舎)	RC	3	1352	1980	S55	45	B	C	B	A	B	71点
5	大住小学校	屋内運動場1(体育館)	RC	1	668	1973	S48	52	B	C	C	B	B	56点
6	大住小学校	給食室棟	RC	1	156	1976	S51	49	B	C	B	B	B	67点
7	田辺小学校	校舎1(本館・北校舎)	RC	2	1742	1959	S34	66	A	A	A	A	A	100点
8	田辺小学校	校舎2(南校舎)	RC	3	2082	1968	S43	57	B	B	B	B	B	75点
9	田辺小学校	校舎3(中校舎)	RC	3	737	1978	S53	47	A	A	A	A	A	100点
10	田辺小学校	校舎4(トイレ棟)	S	2	78	2007	H19	18	B	A	B	B	B	81点
11	田辺小学校	屋内運動場1(体育館)	RC	1	860	1993	H5	32	B	C	B	B	B	67点
12	田辺小学校	給食室棟	RC	3	196	1978	S53	47	C	C	C	C	C	40点
13	草内小学校	校舎1(南校舎東)	RC	2	437	1970	S45	55	A	C	B	B	B	69点
14	草内小学校	校舎2(南校舎中・西)	RC	3	1269	1980	S55	45	A	C	B	A	B	72点
15	草内小学校	校舎3(中校舎)	RC	2	429	1970	S45	55	C	B	B	B	B	73点
16	草内小学校	校舎4(管理棟)	RC	1	252	1965	S40	60	C	B	B	B	B	73点
17	草内小学校	校舎5(北校舎)	RC	3	1226	1975	S50	50	A	C	B	B	B	69点
18	草内小学校	屋内運動場1(体育館)	RC	1	740	1981	S56	44	A	C	A	B	B	77点
19	草内小学校	給食室棟	RC	1	131	1967	S42	58	B	B	B	C	C	61点
20	三山木小学校	校舎1(東校舎西)	RC	2	826	1971	S46	54	A	B	B	A	A	86点
21	三山木小学校	校舎2(東校舎東)	RC	2	1305	1972	S47	53	A	B	A	A	A	94点
22	三山木小学校	校舎3(東校舎北)	RC	2	680	1974	S49	51	A	B	A	A	A	94点
23	三山木小学校	校舎4(西校舎)	RC	4	4917	2015	H27	10	B	B	A	A	A	93点
24	三山木小学校	屋内運動場1(体育館)	RC	1	649	1973	S48	52	A	B	A	B	B	85点
25	三山木小学校	給食室棟	RC	1	425	2015	H27	10	A	B	A	A	A	94点
26	普賢寺小学校	校舎1(南校舎)	RC	2	693	1973	S48	52	B	C	C	B	B	56点
27	普賢寺小学校	校舎2(管理棟)	RC	2	1043	1974	S49	51	B	C	C	B	B	56点
28	普賢寺小学校	校舎3(北校舎)	RC	2	394	1994	H6	31	A	C	B	B	B	69点
29	普賢寺小学校	屋内運動場1(体育館)	RC	1	631	1983	S58	42	B	B	A	A	B	87点
30	田辺東小学校	校舎1(北校舎)	RC	3	1179	1972	S47	53	B	B	B	A	A	85点
31	田辺東小学校	校舎2(管理棟)	RC	4	2168	1974	S49	51	B	B	B	A	A	85点
32	田辺東小学校	校舎3(中校舎)	RC	3	1183	2010	H22	15	B	B	A	A	A	93点
33	田辺東小学校	屋内運動場1(体育館)	RC	1	808	1974	S49	51	D	D	B	B	B	56点
34	田辺東小学校	給食室棟	RC	1	144	1972	S47	53	B	C	B	B	B	67点
35	松井ヶ丘小学校	校舎1(南校舎)	RC	3	2727	1978	S53	47	B	C	C	B	B	56点

※構造はRC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造・その他構造
 ※築年数は令和7年度(2025)基準

表2-5：棟別劣化状況の評価結果 2/2

A :概ね良好 C :広範囲に劣化
 B :部分的に劣化 D :早急に対応する必要がある

通し 番号	施設名	建物名	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築 年数	屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
						西暦	和暦							
36	松井ヶ丘小学校	校舎2(北校舎)	RC	3	2025	1997	H9	28	A	B	B	B	B	77点
37	松井ヶ丘小学校	屋内運動場1(体育館)	RC	1	703	1978	S53	47	B	B	A	B	B	83点
38	松井ヶ丘小学校	給食室棟	RC	1	153	1978	S53	47	B	C	C	B	B	56点
39	薪小学校	校舎1(管理棟)	RC	3	2492	1979	S54	46	D	C	C	B	B	52点
40	薪小学校	校舎2(南校舎)	RC	3	1456	1979	S54	46	B	D	C	B	B	49点
41	薪小学校	屋内運動場1(体育館)	RC	1	716	1979	S54	46	B	B	B	A	A	85点
42	薪小学校	給食室棟	RC	1	150	1979	S54	46	B	C	C	B	B	56点
43	桃園小学校	校舎1(南校舎)	RC	3	1995	1984	S59	41	B	C	B	A	B	71点
44	桃園小学校	校舎2(北校舎)	RC	3	2479	1984	S59	41	B	B	B	A	B	78点
45	桃園小学校	屋内運動場1(体育館)	RC	1	717	1983	S58	42	A	B	B	B	B	77点
46	桃園小学校	給食室棟	RC	1	151	1984	S59	41	B	C	B	C	B	62点
47	田辺中学校	校舎1(北校舎)	RC	4	2151	1975	S50	50	B	B	B	A	A	85点
48	田辺中学校	校舎2(南校舎)	RC	3	2645	2010	H22	15	A	B	A	A	A	94点
49	田辺中学校	校舎3(管理棟)	RC	3	1815	2012	H24	13	A	B	A	A	A	94点
50	田辺中学校	部室棟1	RC	2	277	2012	H24	13	A	B	A	A	-	92点
51	田辺中学校	屋内運動場1(体育館)	RC	2	1179	1975	S50	50	A	B	B	B	B	77点
52	大住中学校	校舎1(南校舎西)	RC	4	2059	1978	S53	47	B	C	B	B	B	67点
53	大住中学校	校舎2(北校舎)	RC	4	1687	1978	S53	47	C	C	B	B	B	65点
54	大住中学校	校舎3(管理棟)	RC	4	2509	1980	S55	45	C	C	B	A	B	68点
55	大住中学校	校舎4(南校舎東)	RC	4	796	1983	S58	42	C	C	B	A	B	68点
56	大住中学校	校舎5(昇降室棟)	RC	4	449	1983	S58	42	C	C	C	B	B	54点
57	大住中学校	部室棟1	S	1	118	1978	S53	47	C	C	B	C	-	55点
58	大住中学校	部室棟2	S	1	83	1978	S53	47	C	B	B	C	-	66点
59	大住中学校	屋内運動場1(体育館)	RC	2	1035	1978	S53	47	B	B	B	B	B	75点
60	培良中学校	校舎1(南校舎)	RC	4	2567	1982	S57	43	A	C	B	A	B	72点
61	培良中学校	校舎2(北校舎)	RC	4	2716	1982	S57	43	C	C	B	A	B	68点
62	培良中学校	部室棟1	RC	1	175	1982	S57	43	C	B	B	B	-	72点
63	培良中学校	屋内運動場1(体育館)	RC	1	1070	1982	S57	43	A	B	A	A	A	94点
64	培良中学校	屋内運動場2(柔道場)	S	1	272	1983	S58	42	B	C	B	A	B	71点
65	三山木幼稚園	園舎1(管理棟)	RC	1	265	1977	S52	48	B	C	B	B	B	67点
66	三山木幼稚園	園舎2(西園舎)	RC	2	381	1996	H8	29	B	B	A	B	B	83点
67	薪幼稚園	園舎1	RC	2	695	1979	S54	46	A	A	A	A	A	100点
68	普賢寺幼稚園	園舎1	RC	2	491	1999	H11	26	B	B	B	B	B	75点
69	大住こども園	園舎1	S	2	2377	2022	R4	3	A	A	A	A	A	100点
70	学校給食センター		S	2	2192	2023	R5	2	A	A	A	A	A	100点

※構造はRC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造・その他構造
 ※築年数は令和7年度(2025)基準

主な部位別劣化状況（校舎・屋内運動場等）

学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
大住小学校	校舎1 (中校舎) 建築年度 S42/1967 (築58年)	C アスファルトシート経年劣化 	C クラック、広範囲に塗装浮き 	C 天井破損 
	校舎2 (北校舎) 建築年度 S48/1973 (築52年)	B 経年劣化 	C 基礎部クラック 	C 床クラック 
	校舎3 (管理棟) 建築年度 S51/1976 (築49年)	B 経年劣化 	B 外壁クラック 	B 天井浮き 
	校舎4 (南校舎) 建築年度 S55/1980 (築45年)	B 経年劣化 	C 鉄筋露出 	B 床材劣化 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 S48/1973 (築52年)	B 経年劣化 	C 鉄筋露出 	C 梁下破損、クラック 

学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
田辺小学校	校舎1 (本館・北校舎) 建築年度 S34/1959 (築66年)	A 良好 	A 良好 	A 良好 
	校舎2 (南校舎) 建築年度 S43/1968 (築57年)	B 経年劣化 	B 軽微なクラック 	B 経年劣化 
	校舎3 (中校舎) 建築年度 S53/1978 (築47年)	A 良好 	A 良好 	A 良好 
	校舎4 (トイレ棟) 建築年度 H19/2007 (築18年)	B 経年劣化 	A 良好 	B 経年劣化 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 H5/1993 (築32年)	B 経年劣化 	C 外壁クラック、白華現象 	B 経年劣化 

学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
草内小学校	校舎1 (南校舎東) 建築年度 S45/1970 (築55年)	A 良好 	C クラック、外壁破損 	B 経年劣化 
	校舎2 (南校舎 中・西) 建築年度 S55/1980 (築45年)	A 良好 	C クラック、モルタル欠け 	B 経年劣化 
	校舎3 (中校舎) 建築年度 S45/1970 (築55年)	C 防水劣化 	B クラック 	B 経年劣化 
	校舎4 (管理棟) 建築年度 S40/1965 (築60年)	C 防水劣化 	B クラック 	B 経年劣化 
	校舎5 (北校舎) 建築年度 S50/1975 (築50年)	A 良好 	C ALC割れ 	B 経年劣化 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 S56/1981 (築44年)	A 良好 	C 鉄筋露出、白華現象 	A 良好 

学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
三山木小学校	校舎1 (東校舎西) 建築年度 S46/1971 (築54年)	A 良好 	B 経年劣化 	B 経年劣化 
	校舎2 (東校舎東) 建築年度 S47/1972 (築53年)	A 良好 	B 塗装浮き 	A 良好 
	校舎3 (東校舎北) 建築年度 S49/1974 (築51年)	A 良好 	B クラック、塗装浮き 	A 良好 
	校舎4 (西校舎) 建築年度 H27/2015 (築10年)	B 経年劣化 	B 塗装浮き 	A 良好 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 S48/1973 (築52年)	A 良好 	B クラック 	A 良好 

学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
普賢寺小学校	校舎1 (南校舎) 建築年度 S48/1973 (築52年)	B 経年劣化 	C 軒天露出 	C 壁クラック 
	校舎2 (管理棟) 建築年度 S49/1974 (築51年)	B 経年劣化 	C 塗装剥離 	C 壁クラック 
	校舎3 (北校舎) 建築年度 H6/1994 (築31年)	A 良好 	C 屋外階段大きな亀裂 	B 経年劣化 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 S58/1983 (築42年)	B 経年劣化 	B 手洗い場クラック 	A 良好 

学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
田辺東小学校	校舎1 (北校舎) 建築年度 S47/1972 (築53年)	B 経年劣化 	B 経年劣化 	B 経年劣化 
	校舎2 (管理棟) 建築年度 S49/1974 (築51年)	B 経年劣化 	B 経年劣化 	B 経年劣化 
	校舎3 (中校舎) 建築年度 H22/2010 (築15年)	B 経年劣化 	B 経年劣化 	A 良好 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 S49/1974 (築51年)	D 雨漏り 	D モルタル欠け、鉄筋露出 	B 経年劣化 

学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
松井ヶ丘小学校	校舎1 (南校舎) 建築年度 S53/1978 (築47年)	B 経年劣化 	C 軒天塗装剥離、劣化 	C 昇降ロッドライト劣化 
	校舎2 (北校舎) 建築年度 H9/1997 (築28年)	A 良好 	B 外壁クラック 	B 壁クラック 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 S53/1978 (築47年)	B 経年劣化 	B 経年劣化 	A 良好 

学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
新小学校	校舎1 (管理棟) 建築年度 S54/1979 (築46年)	D シート破損、浮き、汚れ 	C 鉄筋露出、白華現象 	C 壁クラック 
		B 経年劣化 	D 鉄筋暴露 	C 壁塗装剥がれ、床ス 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 S54/1979 (築46年)	B 経年劣化 	B 経年劣化 	B 塗装剥がれ 







学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
桃園小学校	校舎1 (南校舎) 建築年度 S59/1984 (築41年)	B 経年劣化 	C 鉄筋露出 	B 経年劣化 
	校舎2 (北校舎) 建築年度 S59/1984 (築41年)	B 経年劣化 	B 経年劣化 	B 経年劣化 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 S58/1983 (築42年)	A 経年劣化 	B 経年劣化 	B 経年劣化 

学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
田辺中学校	校舎1 (北校舎) 建築年度 S50/1975 (築50年)	B 経年劣化 	B 塗装剥がれ 	B 経年劣化 
	校舎2 (南校舎) 建築年度 H22/2010 (築15年)	A 良好 	B チョーキング一部アリ 	A 良好 
	校舎3 (管理棟) 建築年度 H24/2012 (築13年)	A 良好 	B 外壁クラック 	A 良好 
	部室棟1 建築年度 H24/2012 (築13年)	A 良好 	B 経年劣化 	A 良好 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 S50/1975 (築50年)	A 良好 	B 経年劣化 	B 壁クラック 




学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
大住中学校	校舎1 (南校舎西) 建築年度 S53/1978 (築47年)	B 経年劣化 	C 屋外階段鉄筋露出、白華現象 	B 経年劣化 
	校舎2 (北校舎) 建築年度 S53/1978 (築47年)	C 苔 	C 鉄筋露出 	B 床破損 
	校舎3 (管理棟) 建築年度 S55/1980 (築45年)	C 苔 	C 階段裏白華現象 	B 経年劣化 
	校舎4 (南校舎東) 建築年度 S58/1983 (築42年)	C ドレン周り防水劣化 	C 鉄筋露出 	B 経年劣化 
	校舎5 (昇降室棟) 建築年度 S58/1983 (築42年)	C 苔 	C 昇降口庇漏水痕 	C 階段部床、幅木劣化 




学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
大住中学校	部室棟1 建築年度 S53/1978 (築47年)	C 折板屋根劣化 	C ガラス窓、コンクリートブロック破損 	B 経年劣化 
	部室棟2 建築年度 S53/1978 (築47年)	C 折板屋根劣化 	B 経年劣化 	B 経年劣化 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 S53/1978 (築47年)	B 経年劣化 	B 経年劣化 	B 経年劣化 

学校名	劣化状況			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	
培良中学校	校舎1 (南校舎) 建築年度 S57/1982 (築43年)	A 良好 	C 鉄筋露出 	B 経年劣化 
	校舎2 (北校舎) 建築年度 S57/1982 (築43年)	C 排水不良跡 	C 塗装の劣化が激しい 	B 経年劣化 
	部室棟1 建築年度 S57/1982 (築43年)	C 校舎と同程度の劣化 	B 外壁クラック 	B 経年劣化 
	屋内運動場1 (体育館) 建築年度 S57/1982 (築43年)	A 良好 	B 良好 	A 良好 
	屋内運動場2 (柔道場) 建築年度 S58/1983 (築42年)	B 経年劣化 	C 大きな穴がある 	B 経年劣化 

学校名		劣化状況		
		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ
三山木幼稚園	園舎1 (管理棟) 建築年度 S52/1977 (築48年)	B	C	B
		経年劣化 	軒天鉄筋露出 	経年劣化 
	園舎2 (西園舎) 建築年度 H8/1996 (築29年)	B	B	A
		経年劣化 	軽微なクラック数箇所 	良好 

学校名		劣化状況		
		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ
薪幼稚園	園舎1 (管理棟) 建築年度 S54/1979 (築46年)	A	A	A
		良好 	良好 	良好 

学校名		劣化状況		
		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ
普賢寺幼稚園	園舎1 (園舎1) 建築年度 H11/1999 (築26年)	B	B	B
		経年劣化 	クラック 	経年劣化 

学校名		劣化状況		
		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ
大住こども園	園舎1 (園舎1) 建築年度 R4/2022 (築3年)	A	A	A
		良好 	良好 	良好 

学校名		劣化状況		
		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ
学校給食センター	学校給食センター 建築年度 R5/2023 (築2年)	A	A	A
		良好 	良好 	良好 

(4) 学校付属施設について

■ 小学校給食施設

小学校の給食施設9棟のうち、建築後40年以上経過している給食施設は8棟で約89%を占めており、50年以上経過している給食施設は3棟となっています。

学校給食における衛生管理を徹底するため、「学校給食衛生管理基準（平成21年(2009)文部科学省告示第64号）」が定められていますが、大半の給食施設は同基準が定められる前に整備されていることから、老朽化対策を含めた今後の給食施設整備の方向性を検討する必要があります。

表2-6：小学校給食施設の状況

学校名	建物名	構造	建築年度	築年数	延床面積(m ²)	備考
大住小学校	給食室棟	RC	S51(1976)	49	156	
田辺小学校	給食室棟	RC	S53(1978)	47	196	
草内小学校	給食室棟	RC	S42(1967)	58	131	
三山木小学校	給食室棟	RC	H27(2015)	10	425	
普賢寺小学校	校舎2(管理棟)	RC	S49(1974)	51	1,043	うち給食室137㎡
田辺東小学校	給食室棟	RC	S47(1972)	53	144	
松井ヶ丘小学校	給食室棟	RC	S53(1978)	47	153	
薪小学校	給食室棟	RC	S54(1979)	46	150	
桃園小学校	給食室棟	RC	S59(1984)	41	151	

※構造はRC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造・その他構造
 ※築年数は令和7年度(2025)基準

表2-7：学校給食衛生管理基準適合状況

学校・施設名	建築年度	調理食数(食)	ドライシステム	作業区域区分	3槽シンク
大住小学校	S51(1976)	233	×	×	×
田辺小学校	S53(1978)	674	×	×	×
草内小学校	S42(1967)	328	×	×	×
三山木小学校	H27(2015)	1,194	○	○	○
普賢寺小学校	S49(1974)	117	×	×	×
田辺東小学校	S47(1972)	161	×	×	×
松井ヶ丘小学校	S53(1978)	626	×	×	×
薪小学校	S54(1979)	629	×	×	×
桃園小学校	S59(1984)	440	×	×	×
学校給食センター	R5(2023)	2,063	○	○	○

※調理食数は令和7年(2025年)5月1日現在の児童生徒数・教職員数の合計としている。

※ドライシステムを導入していない学校はドライ運用（ドライシステムと同様に調理場の床を乾かした状態で使用）を行っている。

※作業区域区分は、「汚染作業区域」「非汚染作業区域」「その他の区域」に部屋単位で区分しているものを○としている。

※3槽シンクは、「加熱調理用食品」「非加熱調理用食品」「器具洗浄」に用いるシンクを別々に設置しているものを○としている。

■ 主な部位別劣化状況（小学校給食施設）

学校名		劣化状況		
		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ
大住小学校	給食室棟 建築年度 S51/1976 (築49年)	B 経年劣化 	C 外壁クラック 	B 壁クラック 
		C 経年劣化 	C クラック、塗装剥離 	C 壁クラック 
田辺小学校	給食室棟 建築年度 S53/1978 (築47年)	B 経年劣化 	B 軽微なクラック 	B 経年劣化 
		A 良好 	B クラック、塗装浮き 	A 良好 
三山木小学校	給食室棟 建築年度 H27/2015 (築10年)	B 経年劣化 	C 塗装剥離 	C 壁クラック 
		B 経年劣化 	C 軒天鉄筋露出 	B 経年劣化 
普賢寺小学校	校舎2 (管理棟) 建築年度 S49/1974 (築51年) うち給食室 137㎡	B 経年劣化 	B 軽微なクラック 	B 経年劣化 
		A 良好 	B クラック、塗装浮き 	A 良好 
田辺東小学校	給食室棟 建築年度 S47/1972 (築53年)	B 経年劣化 	B 軽微なクラック 	B 経年劣化 
		A 良好 	B クラック、塗装浮き 	A 良好 

学校名		劣化状況		
		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ
松井ヶ丘小学校	給食室棟 建築年度 S53/1978 (築47年)	B	C	C
		経年劣化 	軒天劣化、鉄筋露出 	塗装剥離、基礎部が垂れ 
薪小学校	給食室棟 建築年度 S54/1979 (築46年)	B	C	C
		経年劣化 	鉄筋露出 	床タイル破損、天井が 
桃園小学校	給食室棟 建築年度 S59/1984 (築41年)	B	C	B
		経年劣化 	鉄筋露出 	経年劣化 

■ 小学校プール施設

小学校のプール施設10面のうち、建築後40年以上経過しているプール施設は9面で90%を占めており、50年以上経過しているプール施設は6面となっています。

小学校の水泳授業は、プール施設の老朽化だけでなく、屋外施設のため天候や気温に左右されて授業時間数の確保が困難であったほか、清掃や維持管理が教職員の負担となっていました。

そのため、2年間の試行を経て、令和6年度(2024)から民間の屋内プール施設を活用して水泳授業を実施しています。

今後、小学校のプール施設は廃止されることから、跡地活用の前提となる施設の解体撤去を進める必要があります。

表2-8：学校プール施設の状況

学校名	建物名	構造	建築年度	築年数	延床面積(m ²)	備考
大住小学校	プール及び付属室	S	S42(1967)	58	21	廃止予定
田辺小学校	プール及び付属室	S	S40(1965)	60	21	廃止予定
草内小学校	プール及び付属室	S	S43(1968)	57	21	廃止予定
三山木小学校	プール及び付属室	RC	S40(1965)	60	21	廃止予定
	プール及び付属室	RC	H28(2016)	9	141	廃止予定
普賢寺小学校	プール及び付属室	S	S41(1966)	59	21	廃止予定
田辺東小学校	プール及び付属室	RC	S50(1975)	50	32	廃止予定
松井ヶ丘小学校	プール及び付属室	RC	S54(1979)	46	80	廃止予定
薪小学校	プール及び付属室	RC	S54(1979)	46	74	廃止予定
桃園小学校	プール及び付属室	RC	S58(1983)	42	74	廃止予定

※構造はRC:鉄筋コンクリート造 S:鉄骨造・その他構造
 ※築年数は令和7年度(2025)基準
 ※延床面積は付属室の面積

2-3. 教育予算の状況

本市の教育予算は約30～40億円程度で推移していましたが、令和5年度(2023)は学校給食センターの整備のほか田辺小学校の長寿命化改修の実施等により約70億円を計上し、歳出の20%超を占めました。

施設や設備の老朽化を背景に、修繕費が継続的に増加傾向にあり、今後の大きな課題となっています。

■ 教育財政

表2-9：一般会計当初予算

(単位:千円、%)

区分	令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和6年度(2024)	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比
議会費	239,853	1.0	238,167	0.9	238,922	0.8	229,487	0.7	245,937	0.8
総務費	2,476,429	9.9	2,609,990	9.8	2,900,467	10.0	4,064,217	12.5	2,986,508	9.3
民生費	10,806,516	43.1	10,918,874	41.0	11,353,954	39.1	11,789,734	36.3	13,214,379	41.3
衛生費	1,865,117	7.4	2,534,801	9.5	3,079,309	10.6	2,194,072	6.7	2,462,120	7.7
労働費	9,959	0.0	9,630	0.0	8,770	0.0	11,830	0.0	13,276	0.0
農林水産事業	433,910	1.7	407,352	1.5	437,725	1.5	507,176	1.6	585,781	1.8
商工費	172,672	0.7	183,491	0.7	252,001	0.9	207,617	0.6	256,659	0.8
土木費	2,384,727	9.5	3,025,378	11.4	2,931,066	10.1	2,543,277	7.8	3,282,420	10.3
消防費	1,506,970	6.0	1,353,223	5.1	1,648,560	5.7	1,570,652	4.8	2,192,013	6.9
教育費	2,936,223	11.7	3,107,154	11.7	3,944,756	13.6	7,061,964	21.7	4,415,375	13.8
公債費	2,192,592	8.7	2,181,904	8.2	2,234,454	7.7	2,289,968	7.0	2,295,496	7.2
諸支出金	32	0.0	36	0.0	16	0.0	6	0.0	36	0.0
予備費	35,000	0.1	40,000	0.2	40,000	0.1	40,000	0.1	40,000	0.1
合計	25,060,000	100.0	26,610,000	100.0	29,070,000	100.0	32,510,000	100.0	31,990,000	100.0

表2-10：教育費内訳

(単位:千円)

区分	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)
教育費	2,936,223	3,107,154	3,944,756	7,061,964	4,415,375
教育総務費	473,449	439,820	486,342	494,284	704,701
小学校費	851,035	769,941	855,327	1,651,609	1,584,840
中学校費	253,028	254,105	355,836	3,405,577	617,139
幼稚園費	837,095	1,071,817	1,654,314	909,599	922,754
社会教育費	521,616	571,471	592,937	600,895	585,941

資料：京田辺市教育委員会「京田辺市の教育」令和6年(2024)版

2-4. 幼稚園・こども園

本市では、これまで、「子育てしやすいまち」を目指す施策を積極的に展開しており、広く就学前教育を保障するため、おおむね小学校毎に市立幼稚園の整備を進めてきました。

しかしながら、就業形態の多様化や幼児教育・保育の無償化などの影響によって園児数が急激に減少する一方で、保育所等の入所希望者の増加が続いています。

そのため、「第1期京田辺市立幼稚園・保育所再編整備計画」に基づき、市立幼稚園の再編・集約と市立幼保連携型認定こども園の整備を進めてきました。

令和4年(2022)に大住幼稚園を全面改築し、北部地域の拠点となる「市立幼保連携型認定こども園 大住こども園」を整備しました。

また、令和7年(2025)には田辺東幼稚園と河原保育所を統合し、中部地域における拠点となる「市立幼保連携型認定こども園 河原こども園」としたほか、主要な園舎が耐震基準を満たしていない田辺幼稚園を令和8年(2026)から休園としました。

今後も、令和7年度(2025)に策定した「第2期京田辺市立幼稚園・保育所再編整備計画」に基づき、松井ヶ丘幼稚園の大住こども園への統合や草内幼稚園の民間こども園への統合などを予定しています。

2-5. 学校給食センター

本市では、各学校の敷地内にある給食施設で調理を行う「自校調理方式」により小学校給食を実施してきましたが、中学校給食は未実施でした。

そのため、学校給食センターを整備し、令和6年度(2024)からセンターで調理した給食を各中学校へ配送する「共同調理場方式」で給食を開始しました。

表2-11 学校給食センターの状況

施設名	建物名	構造	建築年度	築年数	延床面積(m ²)	備考
学校給食センター	学校給食センター	S	R5(2023)	2	2,192	

2-6. 将来的な更新コストの試算

学校施設について、令和5年度(2023)と令和6年度(2024)に田辺小学校校舎で実施したような、屋根・屋上、外壁、電気機械設備など一式を更新（フルリニューアル）する長寿命化改修を継続した場合、今後40年間の維持・更新コストは1,001億円（約25億円/年）となります。

直近10年間では326億円（約33億円/年）となり、過去5年間の施設関連経費（約8.1億円/年）と比較して約4倍に相当します。

このような長寿命化改修を継続することは困難であり、対策を検討する必要があります。

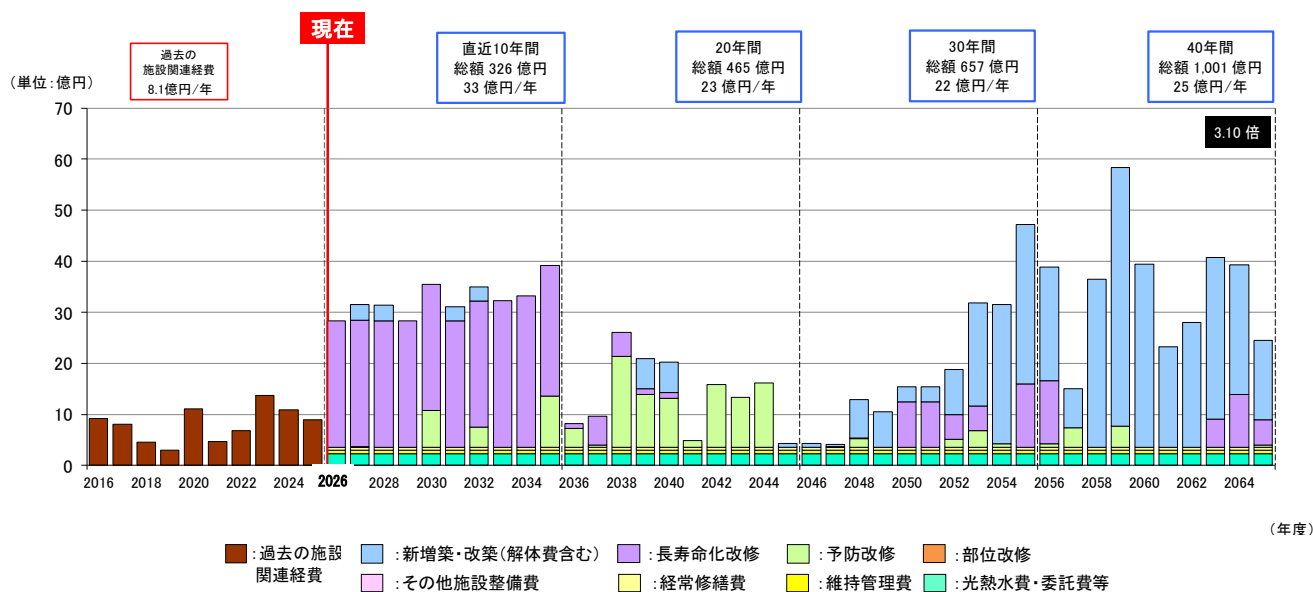


図2-7：今後の維持・更新コストの試算（長寿命化型）

※「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」付属ソフトによる試算（改築単価：67万5千円/㎡）

表2-12：過去の施設関連経費（参考）

	(千円)				
	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)
施設整備費	212,472	179,191	266,009	866,978	644,678
その他施設整備費	39,145	57,783	38,592	195,649	192,589
維持管理費	70,048	52,405	153,025	92,492	22,325
光熱水費・委託費	158,451	171,614	223,039	214,637	225,020
合計	480,115	460,994	680,665	1,369,756	1,084,611

※その他施設整備費はリース施設費用を計上

第3章. 学校施設の目指すべき姿

■ 学校施設の役割と目指すべき姿について

学校施設の整備を効果的に実施するためには、学校施設の役割や本市の教育方針を踏まえて「目指すべき姿」（目標）を定めることが重要です。

1人1台端末の導入など学校のICT化が進展する中、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の更なる充実、多様な学びや交流できる機会を創出する学校づくりが求められています。

また、学校施設は、子どもたちの学習・生活の場であるだけでなく、地域住民にとっても生涯学習、文化、スポーツ等の活動の場として親しまれるとともに、災害が発生した際には避難所としての役割を果たすなど防災面での機能も期待されていることから、今後も地域と連携した学校づくりに取り組んでいく必要があります。

これらを踏まえて、本市における学校施設の目指すべき姿を定めます。

■ 学校施設の目指すべき姿

① 多様な学びができる柔軟性のある学校施設

- ・タブレット端末が1人1台整備されたことで場所を問わず学習できる環境が整いつつある一方で、知識の概念的理解や思考力、判断力、表現力等を育むためには、他者との対話を通じた学びが有効であることから、ICTを活用しながら、対話が生まれやすい学習環境を整備します。
- ・多様な学び方に対応できるよう、学校で工夫できるオープンスペースやラーニング・コモンズ等を整備します。
- ・普通教室についても、学習空間の柔軟性を高めるためのレイアウトや設備の見直しを行います。

② ゆとりのある学校施設

- ・心が落ち着ける空間を学校内の複数箇所で整備します。
- ・友達と安心して過ごせる場や、自分のペースで学べる個別の学習スペースを整備します。

③ 地域とともにある学校施設

- ・教員以外の人材の活用ができるよう地域住民の活動場所を整備します。
- ・児童生徒の学習と生活の場としての基本的な機能を維持しながら、体育館等の地域開放を進めます。
- ・学校は指定避難所としての役割を担っていることから、災害時にも児童生徒の学びを継続できるよう校内施設の運用方法を検討します。

④ 安全で安心な計画的にメンテナンスされている学校施設

- ・児童生徒の安全確保と生活環境の向上に向けて、空調設備の計画的な更新、照明設備のLED化、トイレ環境の改善、防犯設備の充実を進めます。
- ・障がいの有無や年齢等の個々の持つ特徴・特性にかかわらず、全ての児童生徒が快適に学習や生活を営むことができ、地域の人々も利用しやすいよう、バリアフリー化を進めます。
- ・地震等の災害に備え躯体の耐震性を維持するとともに、民間の活力を活用し、学校施設の効率的な維持管理と施設の安全性の向上を図ります。

第4章. 学校施設整備の基本的な方針

4-1. 学校規模・学校配置

■ 望ましい学校規模

市立小中学校では、現在、学校間の児童生徒数に偏在が生じていますが、少子化の進展によって、将来的には全ての小中学校で児童生徒数が減少することが見込まれています。

そのため、下記の視点を踏まえ「12学級以上24学級以下」を望ましい学校規模（適正規模）の基準とします。

<望ましい学校規模の視点>

- ・多様な出会いができ、交友関係を広げられる環境とするためクラス替えができること。
- ・バランスのとれた学年を編制でき、また同学年に複数の教員を配置できること。
- ・活気があり、学校が一体となって行事等を円滑に行うことができること。

■ 望ましい学校配置

学校の配置については、京田辺市全域の児童生徒数だけに着目して単に数合わせで行うのではなく、地域とのつながりや歴史的経緯に十分に配慮したものとしなければなりません。

そのため、現在の市立小中学校の源流となった「5小1中」をベースに、小学校は旧大住小学校、旧田辺小学校、旧草内小学校、三山木小学校及び普賢寺小学校を単位とする5つのブロックごとに、中学校は京田辺市全域を校区としていた旧田辺中学校を単位とする1ブロックで検討し、対策を講じるものとします。

また、幼稚園については、北部・中部・南部の3つの生活圏ごとに拠点となる市立幼保連携型認定こども園を配置した上で、現在市立幼稚園が設置されている小学校区を基本に市立保育所とあわせて再編・集約を進めます。

4-2. 長寿命化改修等

■ 施設保有量の適正化

① 小学校・中学校

施設の需要に見合った適正な保有量の維持が求められる中、少なくとも令和17年度(2035)までは児童生徒数に大きな変化は見込まれていないことから、現在の市立9小学校・3中学校体制を維持することを前提として適正化に取り組みます。

その後は、改めて児童生徒数の推移を精査した上で、義務教育学校又は小中一貫型学校の設置といった小中一貫教育とあわせ、必要に応じて統廃合を含めた適正化の検討を行うものとします。

② 幼稚園・こども園

第2期京田辺市立幼稚園・保育所再編整備計画に基づき、再編・集約を進めます。

③ 小学校給食施設

現在の給食室について、老朽化状況に応じた長寿命化対策や大型備品の更新を実施し、今後も安全かつ衛生的に使用できる環境の維持に努めながら、学校給食衛生管理基準への適合と施設保有量の適正化を図るため、将来的な親子調理方式又は共同調理場方式での給食施設の整備に向けた検討を進めます。

④ 小学校プール施設

小学校プール施設は解体撤去（除却）し、その跡地の活用を図ります。

■ 長寿命化の方針

長寿命化とは、単に老朽化した施設の不具合を修繕するだけでなく、現在の学校に求められる機能や性能水準まで引き上げ、施設を長く使い続けるための総合的な取り組みです。

そのため、長寿命化改修と大規模改造だけでなく「長寿命化対策」「質的整備」「安全対策」といった複数の手法を適切に実施することにより、持続可能な財政運営と両立しながら学校施設の長寿命化を進めます。

なお、老朽化が著しく、長寿命化による対応が困難な施設や、学校の適正配置により新たに必要となる施設等については、改築（建替）や新築（増築）等を実施するものとします。

【長寿命化改修】

建築後40年以上経過した建物について、構造体の耐久性の向上を図るため、屋根・屋上・外壁・内装の更新や省エネルギー化などを一体的に実施するもの。

【大規模改造】

経年により劣化や損傷・故障等が生じた内外装や設備等の機能・性能を回復するため、改修・更新を一体的に実施するもの。

【長寿命化対策】

建物の耐久性を高めるための防水改修、外壁改修、給排水設備更新、電気設備更新を実施するもの。

【質的整備】

多様な教育ニーズや社会的ニーズに対応するための内装整備、空調設備更新、省エネルギー設備整備、トイレのリニューアル、バリアフリー整備、グラウンド環境整備などを実施するもの。

【安全対策】

施設の安全性を確保するための予防修繕、非構造部材の耐震化、その他安全対策を実施するもの。

■ 新しい時代の学びを支える学習環境の整備

学校施設の長寿命化については、子どもたちの新しい時代の学びを支える学習環境の整備とあわせて実施します。

4-3. 目標使用年数及び改修周期

■ 目標使用年数の設定

鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数は47年ですが、これは税務上、減価償却費を算定するためのものであり、文部科学省の調査研究では物理的な耐用年数はこれより長く、適切な維持管理がなされ、コンクリート強度の確保及び中性化の進行が抑制されている場合には約80年程度、さらに技術的には100年以上の長寿命化も可能であるとされています。

本計画では「建築物の耐久計画に関する考え方(日本建築学会)」に基づき、校舎、体育館等の目標使用年数を以下のとおり設定します。

表4-1：目標使用年数の設定

建物の構造	使用年数
鉄筋コンクリート造 (RC)	80年
鉄骨造 (S)	80年

■ 改修周期の設定

多くの鉄筋コンクリート造の学校施設が建築後40年以上経過している現状を踏まえ、目標使用年数まで安全かつ快適に使用できるよう、施設の老朽化状況に応じて長寿命化対策を順次実施します。

また、空調設備更新などの質的整備は、児童生徒の学習環境に差が生じないように長寿命化対策とは別に可能な限り年次的に順次実施するものとし、安全対策については、各種点検の結果を踏まえて都度必要に応じて実施します。

なお、長寿命化改修は建築後40年以上経過した施設、大規模改造は建築後又は長寿命化改修後20年以上経過した施設について、その後20年以上使用することを前提に実施を検討するものとします。

【その他の施設における改修周期】

・ 部室棟

50年を使用期間の目安とし、25年を経過した施設について外壁等の改修を行います。

・ グラウンド

長年の利用により、砂や土の減少、水はけが悪化していることから勾配修正、保水性改善、排水改善を30年おきに実施します。

4-4. 整備水準

(1) 基本的な整備水準

長寿命化改修工事及び大規模改造工事の基本的な整備水準を以下に示します。

表4-2：基本的な整備水準 1/3

部位		建設当時の代表的な仕様	大規模改造の整備水準 (20年目・60年目)	長寿命化改修工事の整備水準(40年目)	
外部	躯体		-	躯体の状況に応じた適切な補修 (中性化対策、鉄筋腐食対策等)	
	外壁	下地	モルタル下地 + 塗装 (アクリルリシン)	ひび割れ、浮き、欠損、鉄筋の 発錆等の補修	ひび割れ、浮き、欠損、鉄筋の 発錆等の補修
		タイル仕上		欠損、浮き、剥離、ひび割れの 補修、洗浄	欠損、浮き、剥離、ひび割れの 補修、洗浄
		塗装 仕上		塗り仕上げ改修 (ウレタン系塗料)	塗り仕上げ改修 (ウレタン系塗料)
	屋上		アスファルト防水	かぶせ工法によるシート防水	かぶせ工法によるシート防水
	屋根	鋼板 屋根	ガルバリウム鋼板	下地処理の上、塗装 (シリコン系又はフッ素系塗料)	葺替え
		瓦屋根	洋瓦等	セメント瓦の場合は下地処理の上、 塗装(シリコン系又はフッ素系塗料)	葺替え
	建具	サッシ	アルミサッシ	動作点検、金物の取替	状況に応じてサッシ更新 動作点検、金物の取替
		ガラス	普通ガラス	複層ガラス	複層ガラス
	その他外部		鉄部塗装	下地処理の上、塗装 (シリコン系又はフッ素系塗料)	下地処理の上、塗装 (シリコン系又はフッ素系塗料)
内部	各室	間仕切	木製枠+木製戸 鋼製枠+鋼製戸	劣化・損傷状況により 部分改修	鋼製パーテーションに更新
		床	教室内： フローリングタイル 体育館、廊下等： フローリングタイル 長尺塩ビシート	劣化・損傷状況により 部分改修	床仕上げ改修 教室内：フローリングタイル 体育館、廊下等：長尺塩ビシート
		壁	モルタル+塗装	劣化・損傷状況により部分改修	塗替え
		天井	化粧石膏ボード	劣化・損傷状況により部分改修	張替え
	建具	一般 建具	鋼製戸	動作点検、金物の取替	状況に応じて更新 動作点検、金物の取替
		防火戸	防火戸	動作点検、金物の取替	状況に応じて更新 動作点検、金物の取替

表4-3：基本的な整備水準 2/3

部位		建設当時の 代表的な仕様	大規模改造の整備水準 (20年目・60年目)	長寿命化改修工事の 整備水準(40年目)	
設備	電気設備	電灯設備	-	照明等の更新	電気配線・配管等の全面更新
		消防設備	-	自動火災報知設備等の更新	消防設備の全面更新
	給排水設備		-	部分改修	全面更新
	機械設備	空調設備	-	全面更新	全面更新
		昇降機設備	-	部分改修	状況に応じて更新、又は部分改修

表4-4：基本的な整備水準 3/3

安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修（躯体、非構造部材、書棚等の家具） ・防災機能の整備（太陽光発電、備蓄倉庫） ・安全対策（ガラスの飛散防止、コーナークッション） 	
バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレの整備 ・階段手すりの設置 ・スロープの設置 ・エレベーターの設置 	
生活環境	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ床の乾式化 ・内装の更新 ・洋式便器へ改修
	木質化	<ul style="list-style-type: none"> ・内装の木質化
	断熱性	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上、外壁等の断熱改修 ・複層ガラスの整備
省エネ	衛生器具	<ul style="list-style-type: none"> ・節水型便器へ改修
	水栓	<ul style="list-style-type: none"> ・自動水栓へ改修
	空調設備	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー型空調の導入

※施設別に実施可能な範囲を検討するものとします。

(2) 新しい時代の学びを支える学習環境の整備

新しい時代の学びを支えるために必要な教室等の整備水準を以下に示します。

表4-5：教室等の整備水準

- ・普通教室のレイアウトや設備の見直し
- ・黒板のホワイトボード化
- ・児童生徒が落ち着くためのスペースの整備
- ・個別スペースや防音設備など児童生徒の特性に応じた環境の整備（特別支援学級・通級指導）
- ・「マルチ・ラーニングルーム」の整備（中学校）
- ・「コモンルーム」の整備
- ・学習・情報センターとしての機能を有する図書室
- ・十分な執務スペースを有する職員室の確保
- ・休憩や打合せ等ができるスペースの整備
- ・ICTが活用できる会議室の整備
- ・校内教育支援センターの設置
- ・相談室や医療的ケアの実施に配慮されたスペースの整備
- ・自習スペースの整備（中学校）
- ・児童生徒が気軽に立ち寄ることができるデン空間等の整備
- ・コミュニティ・スクールの活動拠点の整備
- ・更衣室の整備
- ・体育館への大型モニター、ICT機器の整備
- ・グラウンドへの人工芝等の導入
- ・防犯設備の充実

※施設別に実施可能な範囲を検討するものとします。

4-5. 予防保全型の維持管理

■ 予防保全の方針

施設をできる限り長く使うためには、構造躯体を健全に保つことが重要であり、老朽化による不具合が発生してから修繕を行う「事後保全」から、損傷が軽微な段階から予防的な修繕を実施する「予防保全」へ転換することが求められています。

そのため、専門業者による日常点検などを含む包括管理業務委託を小中学校だけでなく幼稚園・こども園にも導入し、定期的な点検のサイクルを確立して修繕費の縮減を図るとともに、子どもたちにとって安全で快適な学習環境を確保していきます。

また、学校施設の定期的・日常的な点検の情報、改修や修繕の履歴情報等の各種情報を適切に記録し更新していくことが必要なことから、以下に示す台帳や点検・報告等の取組により、学校施設情報を収集、管理していくものとし、各データは施設状況に変更が生じた際や改修・修繕等が行われた際に適宜更新します。

表4-6：学校施設情報の記録方法

情報種類	記録方法
学校施設の基本情報	学校施設台帳
学校施設の点検・改修・修繕等の履歴	学校施設工事台帳

第5章. 長寿命化改修等の実施計画

5-1. 実施計画の考え方

■ 実施計画の方針

今後10年間は、施設の劣化状況に応じた個々の長寿命化対策と空調設備更新などの質的整備を順次実施します。

質的整備に関しては、令和9年(2027)末までに蛍光灯の製造が禁止されることから照明設備のLED化、耐用年数を迎える教室・保育室等の空調設備の更新、改善要望の多いトイレのリニューアルを計画的・年次的に進めます。

また、老朽化に伴う修繕を確実に実施しながら、包括管理業務委託による専門業者の定期的な点検結果に基づく予防修繕を進めます。

■ 学校付属施設について

① 小学校給食施設

現在の給食室について、老朽化状況に応じた長寿命化対策や大型備品の更新を順次実施します。あわせて、将来的な親子調理方式又は共同調理場方式での給食施設の整備に向けた検討を進めます。

② 小学校プール施設

跡地の活用を推進するため、解体撤去（除却）を順次実施します。

5-2. 実施計画

■ 実施計画

今後10年間ににおける長寿命化の実施計画を以下のとおり定めます。

なお、事業の実施については、今後の社会情勢や市財政状況、点検結果等によって見直すことがあり、毎年度の予算で具体的に示します。

表5-1：今後10年間の実施計画

		令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)
長寿命化対策		Dランク部位を解消			順次実施	
質的整備	トイレリニューアル	2棟程度/年				
	空調設備更新	中学校の教室から順次更新				
	照明設備LED化	実施				
安全対策		順次実施				
その他		順次実施				

		令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	令和15年度 (2033)	令和16年度 (2034)	令和17年度 (2035)
長寿命化対策		順次実施				
質的整備	トイレリニューアル	2棟程度/年				
	空調設備更新	中学校の教室から順次更新				
	照明設備LED化					
安全対策		順次実施				
その他		順次実施				

第6章. 長寿命化計画の運用方針

6-1. 計画の推進体制

本計画については、学校施設を所管する教育委員会を中心に取り組んでいきますが、学校施設が地域交流の場や災害時の避難所としての機能を有すること、また、本市の公共施設の延床面積の約半分を占めることから、全庁的な視点で本計画の着実な推進を図る必要があります。

そのため、本市における全ての公共施設等の情報を管理集約し、部局横断的な施設の適正管理と持続可能な財政運営に取り組むため設置している「京田辺市公共施設マネジメント推進会議」において検討が必要となる事項の調整や計画の進捗確認等を行います。

6-2. 計画の見直し

本計画の対象期間は、令和3年度(2021)から令和38年度(2056)までの36年間という長期にわたる計画であることから、改定から10年を目安として、学校環境の整備に関する具体的方針を示す「京田辺市新しい学校づくりプラン」とあわせて見直しを行います。

ただし、計画期間内であっても、社会情勢の変化や事業の進捗状況等に応じて計画の見直しを行うものとします。

用語集

あ行

いじかんり
維持管理

建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し保持するため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと。

インフラ

インフラとは、インフラストラクチャーの略。学校、病院、道路、港湾、工業用地、公営住宅、橋梁、鉄道路線、バス路線、上水道、下水道、電気、ガス、電話等の国民福祉の向上と国民経済の発展に必要な公共施設を指す。平成25年(2013年)11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」(インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定)において、各インフラの管理者及び当該インフラを所管する国や地方公共団体の各機関は、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにする計画として、「インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定することとされている。

か行

かいちく
改築

老朽化した建物を取り壊し、新しく建て替えること。

かいしゅう
改修

経年劣化した建物の部分又は全体の原状回復を図ることや、建物の機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。

くたい
躯体

床や壁、梁等の建物の構造を支える骨組のこと。

こうきょうしせつとうそうごうかんりけいかく
公共施設等総合管理計画

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、地方公共団体が保有する全ての公共施設等を対象に中期的な取組の方向性を示した計画。インフラ長寿命化基本計画において策定するとされているインフラ長寿命化計画(行動計画)のうち、地方公共団体が策定するものを「公共施設等総合管理計画」という。

こうきょうしせつ
公共施設マネジメント

地方公共団体等が保有する全ての公共施設を、自治体経営の視点から総合的かつ統括的に企画、管理及び利活用する仕組みのこと。

こうしん 更新

既存の建物や設備を新しく改めること。建物の場合は、「改築」と同義ととらえる。

さ行

じごほぜん 事後保全

故障発生の都度、修理を行うこと。(⇔予防保全)

しゅうぜん 修繕

経年劣化した建物の部分を、既存のものとおおむね同じ位置におおむね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復すること。

た行

たいしんきじゆん 耐震基準

建築物や土木構造物を設計する際に、それらの構造物が最低限度の耐震能力を持っていることを保証し、建築を許可する基準のこと。建築物においては、昭和56年(1981年)5月31日までの建築確認において適用されていた基準を旧耐震基準、以降を新耐震基準という。

たいようねんすう 耐用年数

建物や設備機器を使用する上で予想される使用可能な年数のこと。

ちゅうせい 中性化

二酸化炭素によって生じる鉄筋コンクリートの劣化のひとつ。コンクリートは主成分がセメントであるため内部がアルカリ性であるが、外部からの炭酸ガスの侵入によって中性になると鋼材の不動態被膜が失われ、鉄筋サビの発生とコンクリートのひび割れが生じる。

な行

にんてい えん 認定こども園

教育・保育を一体的に行う施設のこと。幼稚園と保育所の良いところを生かしながら、その両方の役割を果たすことができる施設。

は行

バリアフリー

高齢者や障がい者等が社会生活を送る上で支障となる物理的、精神的な障壁（バリア）を取り除いた状態や、それらを取り除くことをいう。

や行

よぼうほぜん **予防保全**

故障が起こる前に計画的に補修・更新すること。(⇔事後保全)

その他

ICT

Information and Communication Technology（情報通信技術）の略で、情報処理や通信に関する技術を総合的に表したことば。

ぞう **RC造**

鉄筋コンクリートを用いた建築の構造（鉄筋コンクリート造）のこと。英語のReinforced-Concrete（補強されたコンクリート）の略。

ぞう **S造**

建築物の躯体に鉄製や鋼製の部材を用いる建築の構造（鉄骨造）のこと。Steel の略。

京田辺市学校施設長寿命化計画 令和8年(2026年)3月改定

編集発行 京田辺市 教育部 学校教育課

住 所 〒610-0393 京都府京田辺市田辺 80